

2025年度 学生満足度調査結果まとめ

1. 調査目的

本学学生の大学生活に対する満足度の現状を把握すると同時に大学生活の実態を調査し、今後の参考にするための基礎データとすること

2. 対象者

全学生

3. 調査方法

グーグルフォームを用いたオンライン回答

4. 実施期間

23年度入学生以外：後期オリエンテーション時に配布～10月6日（月）

23年度入学生：8月22日模試後に配布～10月6日（月）

5. 昨年度からの変更点

(1) 回答フォームの改善

昨年度：学年毎にQRコードと依頼文を分けて配布

（例：4年生回答用QRコードは4年生の後期オリエンテーション会場で配布）

今年度：入学年度毎にQRコードを作成し、1枚の用紙に全入学年度のQRコードを貼付して配布

学生は配布文書に貼付された4つのQRコードのうち、自身の入学年度のQRコードから回答

6. 結果

<回収率>

昨年度回収率

2025年度入学生：96.9%（回答者57名/対象者59名）

25年度入学生：84.4%（回答者38名/対象者45名）

2024年度入学生：83.3%（回答者35名/対象者42名）

24年度入学生：85.7%（回答者36名/対象者42名）

2023年度入学生：90.2%（回答者37名/対象者41名）

23年度入学生：88.6%（回答者62名/対象者70名）

2022年度入学生：89.0%（回答者65名/対象者73名）

22年度入学生：75.7%（回答者53名/対象者70名）

合計：90.2%（回収数194部/対象者215名）

合計：83.3%（回収数189部/対象者227名）

I. 大学入学に関する満足度

(1) 入学した当時の満足度

- ・4学年合計で満足・やや満足と回答した学生（76.3%）は、昨年度（74.6%）と横ばいであった。
- ・入学年度別では、24年度入学生が97.1%と最も高く、23年度入学生が59.4%と最も低かった。

(2) 現在の満足度

- ・4学年合計で満足・やや満足と回答した学生は68.0%であり、昨年度の69.8%とほぼ横ばいであった。（過去アンケート結果：2023年度 73.7%、2022年度実施 83.3%）
- ・入学年度別では、25年度入学生が82.5%と最も高く、23年度入学生37.8%と最も低かった。

II. 支援体制に関する満足度

- ・4学年合計で満足・やや満足の合計が80%未満の項目は低いものから順に、課外活動（55.7%）、研究（70.6%）、ネット環境の整備（75.3%）、保健室・健康面支援（78.4%）であった。
- ・昨年度は満足・やや満足の合計が80%以上の項目は9)事務窓口の学生支援だけであったが、今年度は1)学修支援、3)大学生活支援、5)就職・キャリア支援、6)国家試験対策、7)アドバイザーによる支援、9)事務窓口の学生支援の6項目であった。

III. 各施設・設備の満足度

- ・ 4 学年合計で満足・やや満足の合計が90%以上の項目は高い順に、 9) 実習室 (93.8%)、 6) ラウンジ (92.8%)、 4) 学生食堂 (91.8%) であった。
- ・ 4 学年合計で満足・やや満足の合計が80%未満の項目は低いものは、駐輪場・駐車場 (78.9%) であった。

Ⅳ. 学生生活に関する実態調査

1) 通学について

- ・ 通学時間は、上位から順に30分未満 (38.1%)、30分以上 1 時間未満 (27.3%)、 1 時間～1時間半 (19.1%) であった。
- ・ 通学方法は、上位から順に自家用車113人、バスが95人、徒歩が46人、電車が39人、自転車が17人であり、昨年度と大きな変わりはない。

2) 奨学金の受給 ※複数回答可

- ・ 4 学年合計で受給者は71.6% (139人) で、昨年度の72.5% (137人) より微増であった。受給先の延べ合計は204件で、昨年度の197件でほぼ横ばいでした。
- ・ 受給先は多い方から順に、日本学生支援機構が104人、病院等の医療施設が46人、新潟県看護職員修学資金が31人、長岡医療と福祉の里が12人、市が6人、その他3人であった。

3) 学習習慣について

- ・ 1 日の授業以外の勉強時間は、上位から順に1時間～1時間半 (27.8%)、30分未満 (21.1%)、30分～1時間 (18.0%)、2時間～2時間半 (11.9%) であった。昨年度は、上位から順に1時間～1時間半 (33.3%)、1時間半～2時間 (17.5%)、30分未満 (16.4%)、30分～1時間 (13.8%) であった。
- ・ 上位から順に提出期限厳守 (165人)、授業をよく聞く (116人)、インターネットで調べる (113人)、ノートをとる (62人) であった。

4) 図書館の利用状況

- ・ 25年度入学生と22年度入学生は週1～2回が最多で、それぞれ35.0%、35.4%であった。23年度入学生は試験期間のみが35.0%、月1～3回が32.0%であった。24年度入学生は、試験期間のみが最も多く65.0%であった。

5) アルバイトについて

- ・ 4 学年合計で147人 (75.8%) の学生がアルバイトをしており、2024年度調査74.1%、2023年度調査67.9%より増加していた。
- ・ 職種は、上位から順に飲食店、小売販売業、その他、塾・家庭教師であり、昨年度から大きな変化はなかった。
- ・ 1週間あたりの平均労働時間は、10時間以上20時間未満が39.9%と最も多く、20時間未満が全体の81.8%を占めていた。30時間以上の学生は 4 名であった (24年度調査時： 6 名、23年度調査時：0名)。

6) サークル活動

- ・ サークル活動をしている学生は37.1%で、昨年度の36.0%より増加した。
- ・ 参加していない理由は、上位から順に、入りたいサークルがない (35.2%)、アルバイト優先 (23.3%)、予習復習優先 (19.2%) と、昨年と同様の結果であった。

Ⅴ. 学生自身に関すること

1) 住居

- ・ 自宅が62.4% (昨年度：55.0%)、アパートが35.1% (昨年度：43.9%)、親戚や親族宅が2.1%であった。
- ・ 家賃は、割合が高いものから順に 4 万円未満 (35.7%)、4～4.5万円 (24.3%)、4.5～5万円 (10.0%)、5～5.5万円 (8.6%)、5.5～6万円 (5.7%) であった。

2) 睡眠時間

- ・ 上位から順に 6 時間台 (41.2%)、5 時間台 (26.8%)、5時間未満 (12.9%)、7 時間台 (12.4%) であった。

3) 食事摂取状況

・3食食べている学生は、25年度入学生（80.7%）、24年度入学生（57.1%）、23年度入学生（54.1%）、22年度入学生（55.4%）で、4学年全体で62.9%であった。特に朝食摂取率が64.4%と最も低かった。

4) 不安や悩みについて

・“たくさんある”と答えた学生の割合は17.0%で、昨年度（19.6%）より減少していた。“ややある”と答えた学生は42.3%で、昨年度（42.9%）と横ばいであった。

・“たくさんある”、“ややある”と答えた学生の合計は59.3%で昨年度（62.5%）より3.2ポイント減少した（23年度：55.0%）。

・悩みの内容は、上位から順に勉学（35.3%）、就職・進路（23.4%）、経済状況（12.6%）、対人関係（11.4%）であった。昨年度3番目に多かった自分の体調・健康は9.3%で、昨年度13.0%より減少し5番目となった。

・相談相手の上位は順に、父・母（28.3%）、学内先輩・友人（19.1%）、学外の友人・先輩（18.4%）であった。父・母、兄弟・姉妹、親戚の合計は41.8%（昨年度：37.8%）で家族に相談している割合が高く、大学教員へ相談する者の割合は3.8%（昨年度：5.5%）であった。

・相談したいが相談していない学生の割合は2.6%であった（昨年度：1.8%）。

5) 卒業後の進路希望（複数回答）

・就職希望者は87.9%、進学希望は9.5%で、昨年と大きな変化はなかった。

・就職希望先は上位から順に、病院74.4%（昨年度：67.5%）、保健所8.4%（昨年度：9.6%）、市役所7.0%（昨年度：7.9%）、企業3.5%（昨年度5.3%）、施設2.6%（昨年度3.9%）、学校1.3%（昨年度：2.6%）であった。

・進路希望先は助産コース9人（昨年同様）、大学院6人（昨年度：2人）、その他と無回答は計5人であった。